

1 (1) 完答 (3)①, ② 各順不同完答

(1)	X	ア	Y	イ	(2)	①	赤	色	②	黄	色
-----	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---

(3)	①	ア, イ, オ	②	ウ, エ	(4)	①	イ	②	ア	③	ウ
-----	---	---------	---	------	-----	---	---	---	---	---	---

2 (2) 完答 (5)①, ② 各 8 方位指定

(1)	イ	(2)	①	B	②	C	(3)	イ
-----	---	-----	---	---	---	---	-----	---

(4)	①	カ	②	エ	③	オ	(5)	①	南西	②	南東	(6)	オ
-----	---	---	---	---	---	---	-----	---	----	---	----	-----	---

3 (2)①, ②, ③ 各順不同完答

(1)	周期	(2)	①	いとえ	②	あといとう	③	あとお
-----	----	-----	---	-----	---	-------	---	-----

(3)	①	オ	②	ウ	③	オ	(4)	①	2.0	秒	②	2.8	秒
-----	---	---	---	---	---	---	-----	---	-----	---	---	-----	---

(5)	①	1500	回	②	150	回
-----	---	------	---	---	-----	---

4 (2)①, ②, ③, (3)② 各完答

(1)	A	しん 侵(浸)食	B	ぼん 運搬	C	たい 堆積
-----	---	-------------	---	----------	---	----------

(2)	①	はたらき C	地域	う	②	はたらき C	地域	い	③	はたらき A	地域	あ
-----	---	-----------	----	---	---	-----------	----	---	---	-----------	----	---

(3)	①	ア	②	A	ア	C	ウ
-----	---	---	---	---	---	---	---

[配点] 1~3 : 各 3 点 × 28 = 84 点

4 : 各 2 点 × 8 = 16 点 (合計) 100 点

2

- (1) 地球の公転のようすから、太陽は図の上の方向にあることがわかる。北極点が太陽に向かってかたむいていることから、夏至の日であることがわかる。
- (2) 地球の公転、月の公転ともに、北極星の方向から見て反時計回りである。
- (3) 太陽が図の上の方向にあることから、地球のかげは下側にできる。
- (4)② 3時に西の空にある月は、3時(27時) - 6時間 = 21時に南中する月である。→エ
- ③ 21時に南東の空にある月は、21時 + 3時間 = 0時(24時)に南中する月である。→オ
- (5)① ウの月は上弦の月であり、南中時刻は18時である。21時は南中の3時間後なので、南西の方角にある。
- ② キの月は下弦の月であり、南中時刻は6時である。3時は南中の3時間前なので、南東の方角にある。
- (6) 月食は、満月のときに観測される可能性がある。

3

- (2)① おもりの重さの条件だけがちがうのは、い、えの2つである。
- ② ひもの長さの条件だけがちがうのは、あ、い、うの3つである。
- ③ ふれはばの条件だけがちがうのは、あ、おの2つである。
- (3)① い、えをくらべると、おもりの重さが変わっても1往復するのにかかる時間は変わらないことがわかる。
- ② あ、い、うをくらべると、ひもの長さが4倍、9倍になると、1往復するのにかかる時間は2倍、3倍になることがわかる。
- ③ あ、おをくらべると、ふれはばが変わっても1往復するのにかかる時間は変わらないことがわかる。
- (4)① ひもの長さが100cmなので、1往復するのにかかる時間は2.0秒である。
- ② ひもの長さが200cmなので、かの50cmの4倍になっている。つまり、1往復するのにかかる時間はかの2倍になる。
 $1.4 \text{ 秒} \times 2 = 2.8 \text{ 秒}$
- (5)① 1時間 = 60分 = $60 \times 60 = 3600$ 秒 $3600 \text{ 秒} \div 2.4 \text{ 秒} = 1500$ 往復
- ② $3.6 \text{ 秒} \times 100 = 360$ 秒 $360 \text{ 秒} \div 2.4 \text{ 秒} = 150$ 往復